

# 予算決算

## 一般会計補正予算

### ◎総務部所管

**問** 町誌編さん協力員の謝金3千円の根拠は。

**答** 作業時間を1回当たり3時間程度と見込み、時給千円を基本として設定した。

**問** 前回刊行の町誌は300冊程度残っている。電子書籍を考えているの

であれば印刷部数800冊は多いのではないか。

**答** 現在の町誌は2千冊印刷し、販売、寄贈を行い300冊残っている。販売することが目的ではないが、在庫管理に



# 児童が安全に、安心して快適に使用できるように 学校教育施設修繕工事費などを可決

困ることから、800冊と電子書籍を作れば当分の間はもつと考えた。

### 意見

■ 本として残すことは大事だが、今の時代のニーズに合わせたデータで残すことも検討しては。

■ 新しく購入する人に優遇措置をするなど、300冊の在庫をなくす方法を考える。

■ 電子書籍にするのであれば、前回の町誌も電子書籍にすることも一つの考えではないか。

### ◎産業建設部所管

**問** 担い手総合支援事業の費用対効果と事業評価は。

**答** 補助金を支出しており、費用対効果は検証する必要がある。

**問** 5年先の目標である農業経営改善計画書を作成しなければなら

ない。機械を購入することにより、経営改善が図られ、省力化、所得向上を数値化して検証する。

また、県の農業指導班と連携し、途中経過を把握し、事業の進捗管理に努めている。

**問** 認定農業者全員に補助金の認定要件を周知できているのか。

**答** 年度初めに農家からの営農計画書提出時に、今後の農業用機械等の購入予定を聞き取

り、リスト化している。この事業の要件は、認定農業者で「人・農地プラン」の中心経営体に位置付けられていること、農地中間管理機構を通して、農地を借りることが必要となる。個人の利益のためだけでなく、地域農業の振興につながるものであることが必要である。

**問** 野菜・花き等産地供給力強化支援事業で「さといも」に限定されている理由は。

**答** 愛媛県野菜・花き振興計画に基づいた事業で、県内の「さといも」生産量を5年後には西日本第1位にする計画がある。

今年度は「さといも」と夏秋トマトに限定して事業を実施しているが、本町ではトマ

ト栽培の生産者がいないため「さといも」に限定している。

### 意見

11月第2日曜日のサイクリングイベントに関して、親子での参加の推奨や、パンフレット作成時には各自が十分安全に注意して参加するよう周知すること。



点、JR北伊予駅の「べんてんばし」を予定している。

**問** 事故や交通量の多い町道は他にもある。他の場所での交通量の調査は実施しないのか。

**答** 国では10年に1回大規模な交通量調査を実施している。

町としては道路の新設計画があるときに実施するため、他の場所は、今のところ予定はない。

**意見** 伊予警察署と連携して情報共有することにより、交通安全施設の改善にもつながると思う。

また、平日の調査も検討しては。

**問** 道路交通量調査業務の日程及び場所は。

**答** 11月28日(日)の7時から19時の間に交通量調査を実施する。

場所は町道西古泉筒井線の起終点と中間点、古泉駅東の交差

